

## 令和8年度第1回南あわじ市特別職報酬等審議会 議事要旨

- 1 日 時 令和8年4月22日（水）午後1時30分～午後2時55分
- 2 場 所 南あわじ市役所 304・305会議室
- 3 出席委員 原 孝 会長  
清川 とし子 会長職務代理者  
井本 好則 委員  
市川 富夫 委員  
田村 哲志 委員  
原口 和幸 委員
- 4 欠席委員 久田 浩嗣 委員
- 5 事務局 井上総務部長、中尾総務課長、榎本副課長、西久保係長
- 6 内容等

内容	詳細
(1) 開会	(総務課長により進行)
(2) 会長あいさつ	審議会においては、お忙しい中お越しいただき、感謝申し上げます。皆さんの意見を聞いた中で進めていきたい。最後までよろしくお願ひしたい。
(3) 協議事項 ・ 前回指摘事項の補足説明 ・ 特別職の給料水準の考え方について	<p>(事務局より前回の補足と給料水準の考え方について説明) (委員より財政状況について質疑)</p> <p>委員：市の財政状況に資料のどの指標を注目すればいいですか。</p> <p>事務局：実質公債費比率をH22とR6を比較すると18.2から12.8へ下がっています。同様に地方債現在高も387億円だったものが314億円に減っています。また、将来負担比率が185.5から35.5に減っています。これは将来支払う必要がある負担の割合で低い方がよいものです。また、積立金現在高については、67億円から138億円というように数値上でも改善しています。</p> <p>委員：前回の資料では他市と比較して厳しい数字が出ていましたが、それも改善されてきているということですね。</p> <p>事務局：方向としては改善方向ではありますが、県内で比較すると結構下の方になり、予断を許さない状況です。</p> <p>委員：財政健全化にむけた取り組みは南あわじ市が独自で行っている内容が反映された結果ですか。</p> <p>事務局：合併以降、職員の定員管理の適正化や議員定数の削減、庁舎の統廃合などの結果となります。</p> <p>(給料水準の考え方について議論)</p> <p>委員：部長職との差が縮小している。特別職としての魅力や責任に見合う水準かが課題ではないかと思う。議員報酬に</p>

<p>(4) 閉会 会長職務代理者あ いさつ</p>	<p>についても、仕事と報酬のバランスがなり手不足の要因になっていると考えられます。</p> <p>委員：民間でも人材確保のため下位層の賃金を上げる一方、上位層との差は縮小しています。一定の是正は必要だが、差が小さくなる傾向はある。</p> <p>委員：過去の推移を見ると、一般職は上昇している一方、特別職は下がっています。元に戻すべきか検討が必要。</p> <p>委員：他市ではわずかな増額にとどまる例もあり、一度に大きく戻す必要があるかは慎重に考えるべきでは。</p> <p>委員：期末手当も含めた全体水準や、特別職を経営者として捉えた場合の成果評価も考慮すべきだと考えます。</p> <p>委員：長期間見直しが行われていないため、定期的な検討が必要。</p> <p>事務局：会議はこれまで概ね2年ごとに開催しており、今後も定期的な実施が必要と認識しています。</p> <p>委員：これまでの検討結果や運用状況も踏まえて判断すべきではないですか。</p> <p>事務局：一般職の伸び率をそのまま適用すると上昇幅が大きくなるため、過去水準や直近の動向を踏まえた調整が必要と考えています。2年分など直近期間を基準とする考え方もありえます。</p> <p>委員：過去に遡りすぎず、一定期間を区切って検討していくのがよいと考えます。</p> <p>事務局：現時点では判断材料が不足しており、具体額の検討には追加資料が必要と思います。比較にあたっては、率や県内平均、類似団体など複数の指標を提示します。また、他市の資料なども参考に、わかりやすい資料の作成をお願いしたい。</p> <p>委員：比較対象については、県内だと神戸市は規模が大きいので除くべきと考えます。また、広域での比較では地域差も考慮が必要になると思います。</p> <p>事務局：方向性として、引き上げ・据え置き・引き下げのいずれかを確認させていただけますか。</p> <p>委員：他市の状況を踏まえ、一定の引き上げ方向で検討すべきと考えます。</p> <p>事務局：次回は具体的な引き上げ額の案および比較資料を提示します。また、非常勤特別職についても併せて協議します。開催は6月下旬を予定しています。</p> <p>なかなか簡単ではないが、引き続きお願いしたい。</p>
------------------------------------	--